

甲斐市立玉幡中学校 学校関係者評価書

令和8年2月13日(金)

(玉幡中学校) 学校関係者評価委員会作成

第2回 学校関係者評価委員会

実施日：令和8年1月30日(金) 午後4時～

会場：玉幡中学校 応接室

参加者：学校関係者評価委員；

新海賢一・太田節子・望月 守・望月智和・川上真美

学校側；

校長:樋川和之・教頭:長田道也・教務:坂本誠一・事務:内藤ひとみ

I 学校側から提案された内容

- ・学校の全体の様子
- ・生徒指導に関わる取組状況について

II 協議された主な内容(出された意見等)

- ・教職員による自己評価の集計結果及び生徒・保護者アンケートの集計結果をもとに項目ごと結果分析、考察、改善策を提案し、質問、意見、アドバイスをいただいた。
- ・今日的教育課題、本校における課題について意見をいただき、本校の実態把握及び共通理解のもと、次年度に向けての方策や今後の方向性について意見をいただいた。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・教職員、保護者、生徒アンケートをもとに考察し文章にまとめて提示した。

II 特 徴

- I. 学校教育目標に関して・学校経営について
- II. 学校運営について
- III. 学習指導について
- IV. 生徒指導について
- V. 地域との連携について
- VI. 学校の特色に関して
- VII. 創甲斐教育について

以上、七つの項目について達成状況や改善策を示した。これについて以下のような意見を頂き、説明を行った。

- ・学校の取組について、全体的に肯定的な評価項目が多く、特に教育の質・運営面での高評価が多いことが分かった。
- ・ICTの活用を含めて、学力向上に向けた取り組みができています。不登校生徒へのタブレットを活用した学習（リモート授業やスタディサプリの活用）を行っている。
- ・いじめアンケートや生活アンケートを実施することで、問題行動への発見や早期対応が行われている。
- ・SNSトラブルやネット利用に関する指導状況の共有を行った。日常の中で学級や学年、全校でSNSやスマホ利用の仕方について注意喚起を行っている。大きな問題に巻き込まれた生徒はいないので、今後も継続指導をお願いしたい。
- ・保護者による学園祭などの生徒写真アップ等のSNS利用課題について、学校からの注意喚起の必要性もある。
- ・PTA活動や地域行事参加への保護者意識・参加率についての意見交換を行った。保護者が参加したという意識が低いが、保護者も一緒に参加して楽しいでもらいたい。学園祭や授業参観などもPTAの活動の一環と捉えてほしい。
- ・PTA活動の明確化や参加方法、保護者への伝え方など改善案（活動一覧の周知など）の共有が必要である。また、東京都ではPTA活動に点数制を導入しており、参加した際に点数を付けるなどの取り組みなども参考にしてほしい。
- ・地域によって行事や自治会への関わりに差があることが指摘された。自治会未加入世帯も多い現状であるので、今後、検討が必要である。
- ・玉幡中の生徒は、本当によく挨拶をしてくれる。
- ・最近の生徒は、本を読まないという現状はどうか。
玉幡中では、本を読む生徒も多い。朝読書で毎日7分間の時間の確保している。また、図書室の本に触れる機会や来意室を促す工夫がされている。図書室は市の図書館とも連携していて、竜王図書館の本も借りることもできる。市が予算を付け新刊も多いので、年間約600～700冊の新しい本が入っている。
- ・授業でのグループ活動や学年行事を通じた自己表現力の向上の取組を行っている。
- ・ICT活用（タブレット）の飛躍的向上や読書活動での成果、PDCAサイクルによる改善継続していく。
- ・来年度に向けて、校務支援システムが変更による事前研修やデータの整理などにより、教師の負担増が懸念である。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ①PTA 活動内容の周知方法を改善し、保護者により分かりやすい形で案内する。
- ②PTA 活動や学校、保護者、地域の連携強化について、今後も検討を行っていく。
- ③地域人材の授業活用について事例共有や活用方法のあり方について職員間で共有していく。
- ④全校生徒（不登校の生徒も含めた）のICT活用（タブレット活用）の継続。
- ⑤新校務支援システムの導入に向けて教員の負担増への配慮と研修計画の実施。
- ⑥生徒や保護者へのSNSの利用、撮影画像の投稿に対する注意喚起を引き続き行う。

※特記事項

- ・今年度は、学習活動におけるICTの活用に取り組み、大きく前進することができた。今後もICT活用により、主体的で対話的で深い学びが実現できるよう取り組んでいく。
- ・今年度も、玉幡中学校区における小中連携教育を継続して推進している。陸上部による指導や吹奏楽部による出張演奏、中学校の教員による出前授業を、国語・数学・理科の授業を6年生対象に行った。また、新入生保護者説明会と合わせて、本校生徒会本部の生徒が、中学校生活の説明を行ったり、Q&Aタイムを通して交流したりして、4月から始まる中学校生活に夢や希望を持ってもらえるように努めた。

記載責任者（甲斐市立玉幡中学校 学校関係者評価委員）氏名：新海 賢一